

---

# Dream \* SNOW \* Illusion

瑠音

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

D r e a m \* S N O W \* I l l u s i o n

### 【コード】

N 5 1 0 9 B

### 【作者名】

瑠音

### 【あらすじ】

詩的なものです。はかない雪のお話です。登場人物は「彼女」。雪、気持ち。思いつくままに書いたStoryですがどうぞ御一読下さい。

ふわっ…と舞い落ちる。そしてすうっ…と消えてゆく。それは尽きることはない夢と幻。

彼女はいつもこの道を歩く。

彼女が歩くと、雪が降る。

そして、その夜は特別だった。

彼女は少女のように純粹で、少女のように微笑む。

どこまでもどこまでも透き通った肌。

滑らかな、舞うような身のこなし。

彼女が歩くと、誰もが振り向いた。

そんな彼女は天使のようだった。

ただ、そこにいるだけで癒される。

彼女は、白が好きだった。

自分自身も純粹でありながら

純粹な白を好んだ。

彼女が歩いた跡は

ふんわりと包むように

ひんやりとなでるように

そして透き通るように

心地よかった。

その夜は、

満月だった。  
やわらかい光だった。  
何もかも月の光に照らされて、  
美しく、幻想的に  
輝いていた。

彼女は、歩いていた。  
月の光に照らされて。  
いつものように、雪が降った。  
彼女は、ひんやりと、青白い顔で  
微笑む。  
そして、雪のように  
融けていった。

雪の存在は  
小さく  
はかない。  
しかし  
きらきらと、ふわふわと  
生きている。  
いつも皆を  
包むように。  
優しく  
夢を、見せてくれる。

やわらかい、雪。  
だが冷たい、雪。

さくさくと  
ずぼずぼと

私たちに踏まれてゆく。

それでも

彼らは降りてくる。

色んな形をしながら

色んな夢を運びながら。

その道を、誰かが歩いた。

不思議と、透き通った気持ちになった。

誰かの優しさを感じた。

ふわふわと、雪が

夢が 幻が

舞い降りた。

それは、今も 昔も これからも

無限 むげん 夢幻。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5109b/>

---

Dream \* SNOW \* Illusion

2011年1月27日07時53分発行